

FUSION™ D400Q

クアッドインターフェース対応4ドライブ搭載シリアルATAディスクエンクロージャ

User's Guide

ユーザガイド



USB 1.1 & Hi-SPEED
USB 2.0
READY



For
Windows

Creativity Stored Here™

SONNET™
SIMPLY FAST™
www.sonnettech.com

Fusion D400Qの仕様と機能



- ドライブ接続LED (ベイ1)
- ドライブアクティビティLED (ベイ1)
- ドライブ接続LED (ベイ2)
- ドライブアクティビティLED (ベイ2)
- ドライブ接続LED (ベイ3)
- ドライブアクティビティLED (ベイ3)
- ドライブ接続LED (ベイ4)
- ドライブアクティビティLED (ベイ4)
- エンクロージャ電源LED

仕様

互換性

対応するインターフェース搭載のMac®、Windows®、Linux®コンピュータに対応

インターフェースコネクタ

eSATA 1基、FireWire® 800 2基、FireWire 400 1基、Mini USB 1基

対応ドライブ

3 Gb/秒および1.5 Gb/秒のシリアルATA、7,200 RPM

データ転送速度

ドライブ1台につき最高220 MB/秒、但し使用するインターフェースと設定による

対応OS

プラットフォーム非依存

電源

100~240V、50~60Hz

動作時温度

0°C ~+35°C

寸法 (幅×奥×高)

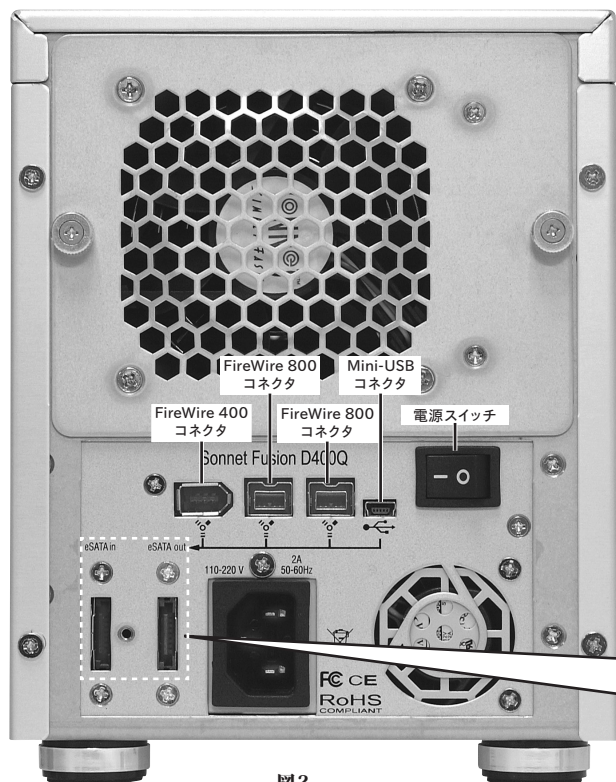
14.9 x 28.5 x 19 cm

重量 (ドライブ搭載時)

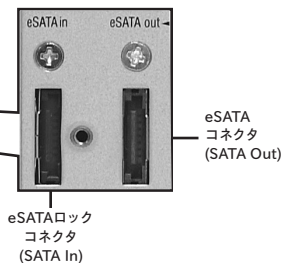
7.7 kg

製品と付属品

ディスクエンクロージャ、3.5インチドライブモジュール4台、ドライブトレイの鍵1式、電源コード、2m長eSATAロック式データケーブル1本、15cm長 (6インチ) eSATAデータケーブル1本、2m長FireWire 800ケーブル1本、1m長FireWire 400ケーブル1本、1m長USBケーブル1本、ユーザガイド



- FireWire 800 コネクタ
- Mini-USB コネクタ
- FireWire 400 コネクタ
- FireWire 800 コネクタ
- 電源スイッチ
- eSATA In
- eSATA out
- 110-220 V
- 2A
- 50-60Hz
- FC CE
- RoHS COMPLIANT



参考情報: お使いのFusion D400Qのポートの配置が本書の図とは異なる場合があります。

安全上の注意と免責事項

安全上の注意

作業を開始する前に必ずこの項をよくお読みください。この注意事項では、身体の安全を守り、本デバイスの損傷の可能性を最低限に抑えらるよう、製品の正しく安全な使用方法を説明しています。

警告

取り扱いを誤ると、感電やショート、火災、その他発生する可能性のある危険により死亡または重傷を負うおそれがありますので、常に以下の基本的な注意事項を守ってお使いください。以下の注意事項が挙げられますが、これに限定されるものではありません。

- ユーザが扱える部品の交換以外は、決してエンクロージャの分解や改造を試みないでください。正常に動作していないように思われる場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。
- エンクロージャやドライブトレイを落下させたり乱暴に扱うと故障の原因になりますので、取り扱いの際には充分ご注意ください。
- エンクロージャ内部に指や異物を差し込まないでください。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。
- 本デバイスを雨にさらしたり、水の近くや隙間にこぼれる恐れのある液体が入っている容器の近くで使用したり、湿気が高いまたは濡れた状態で使用しないでください。
- 異臭や異音、煙などが本デバイスから生じた場合や誤ってデバイスを濡らしてしまった場合は、直ちに電源を切り、コンセントからプラグを抜いてください。
- 必ずこのマニュアルに記載の手順に従ってください。ユーザガイドに記載されていない情報が必要な場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。

免責事項

WindowsでRAIDボリュームを作成する:

WindowsでRAIDボリュームを作成するにはダイナミックディスクストレージが必要です。ダイナミックディスクはWindows Server 2008 R2、Windows Server 2003 SP1、Windows 7 Professional、Enterprise、Ultimate (32ビット、64ビット版)、Windows Vista Enterprise、Ultimate版 (32ビット、64ビット版)、Windows XP Professional (32ビット、64ビット版) で可能なフォーマットオプションです。

2TB以上のRAIDボリュームの作成は、以下のいずれかを満たす必要があります。

- ボリュームの連結 (仮想チェーンで互いにリンク) を行ない、NTFSでフォーマットする。
- GPTフォーマットを行なう。注意としては、GPTフォーマットのドライブとボリュームはWindows XP Professional、Windows Server 2003 SP1 32ビット版では不可視となります。

免責事項

ドライブの使用について:

ソネットテクノロジーズ社では、下記に挙げるハードドライブをFusion D400Qストレージシステムに指定しています。特にRAIDグループの利用時におけるドライブの卓越したパフォーマンス性とエラーハンドリング性、そして信頼性でこのドライブは選ばれました。これらのドライブと一般的なハードドライブとの重要な違いの1つは、エラー時の対応の速さにあります。一般的なハードドライブではエラーのリカバリーに数分かかるのに対し、これらソネットにて検証済みのEnterprise/RAIDエディションのドライブではたった数秒のうちにリカバリーを試みます。RAIDコントローラカードとソフトウェアRAID構造では、ドライブにエラーが発生した際に、そのドライブがすぐにRAIDグループから切り離されてしまうため、ハードドライブメーカーでは、RAIDストレージシステムで一般的なハードドライブの使用を推奨していません。ソネットにて検証済みのハードドライブは、ストレージの信頼性を左右する耐振動性能についても強化されています。システムの信頼性およびパフォーマンス性を確保するため、Fusionストレージシステム製品のご利用には、Enterprise/RAIDエディションのハードドライブまたは厳選されたソネット検証済みのデスクトップ用ハードドライブでの構築をお勧めします。一般的なハードドライブはサポートされていないものもあり、システムの信頼性と性能が低下する可能性があります。Sonnetウェブサイトにて、検証済みハードドライブの最新情報を確認してください。

500GB モデル

- Hitachi 製 Deskstar E7K500 (製品型番 HDS725050KLA360)
- Hitachi 製 Ultrastar A7K1000 (製品型番 HUA721050KLA330)
- Maxtor 製 MaXLine Pro 500 (製品型番 7H500F0)
- Samsung 製 Spinpoint F RAID (製品型番 HE5021J)
- Seagate 製 Barracuda ES (製品型番 ST3500630NS)
- Seagate 製 Barracuda ES.2 (製品型番 ST3500320NS) ⁽¹⁾
- Western Digital RE3 Enterprise (製品型番 WD5002ABYS)

750GB モデル

- Hitachi 製 Ultrastar A7K1000 (製品型番 HUA721075KLA330)
- Samsung 製 Spinpoint F RAID (製品型番 HE753LJ)
- Seagate 製 Barracuda ES (製品型番 ST3750640NS)
- Seagate 製 Barracuda ES.2 (製品型番 ST3750330NS) ⁽¹⁾
- Western Digital RE3 Enterprise (製品型番 WD7502ABYS)

1TBモデル

- Hitachi 製 Ultrastar A7K1000 (製品型番 HUA721010KLA330)
- Samsung 製 Spinpoint F RAID (製品型番 HE103UJ)
- Seagate 製 Barracuda ES.2 (製品型番 ST31000340NS) ⁽¹⁾
- Western Digital RE3 Enterprise (製品型番 WD1002FBYS)

1.5TBモデル

- Seagate 製 Barracuda 7200.11 (製品型番 ST31500341AS) ⁽²⁾

2TBモデル

- Western Digital RE4-GP (製品型番 WD2002FYPS)

(1) ファームウェアバージョン SN06 以降が与えられたSeagate製 ES.2ドライブにのみ対応。ファームウェアバージョンがSN03、SN04、SN05のSeagate製 ES.2は未対応です。

(2) Barracuda製7200.11、1.5TBドライブでファームウェアバージョンがSD1B、CC1H の場合のみ対応しています。

ドライブのインストールとエンクロージャのセットアップ

1. Fusionドライブエンクロージャとドライブモジュールをパッケージから取り出し、接続するコンピュータに近い位置へ置きます。



警告：コンピュータ製品を取り扱う際は、部品が静電気により破損しないよう細心の注意を払ってください。また、カーペットの上など静電気の起こりやすい場所での作業は避けてください。ハードドライブ類は端を持つようにし、接続部分やピンなどには触れないようご注意ください。

2. ドライブトレイのレバーリリースボタンを内側に押し、レバーがリリースされます(図3)。



警告：ドライブトレイをエンクロージャに挿入する際に、**レバーを無理に押し**て閉じようとしないでください。レバーがすんなりと閉まらない場合はトレイをいったん取り出してから再度挿入し、レバーをもう一度押してみてください。

3. ドライブモジュールを丁寧に押してレバーが閉まり始めるところまでエンクロージャ内部へスライドさせて挿入してください。次に、レバーを、カチッと音がするところまで押してエンクロージャ内にあるドライブモジュールを固定します(図4)。

4. 残りのドライブモジュールについて手順2~3を繰り返してください。



図 3

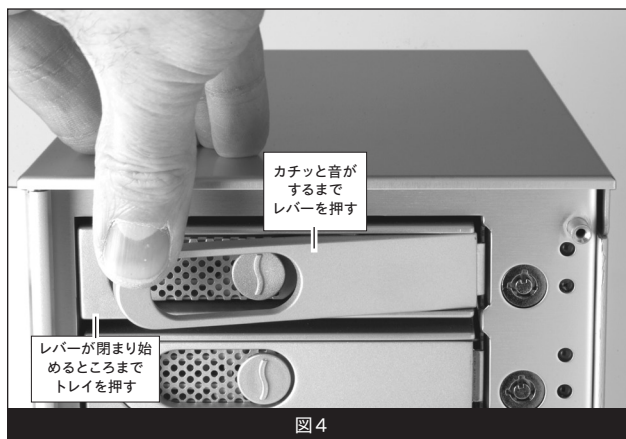


図 4

Fusion D400QをSATAホストコントローラカードと接続する

この項では、Fusion D400QをコンピュータのSATAホストコントローラカードへの接続について説明しています。D400QをコンピュータのUSBまたはFireWireポートへ接続する場合は、このページは飛ばして、次ページ「Fusion D400QをFireWireまたはUSBポートに接続する」へ進んでください。**備考：**お使いのFusion D400Qのポートの配置が、本書の図と異なる場合があります。

1. エンクロージャのSATA inポートとコンピュータのSATAホストコントローラに付属のeSATAロックデータケーブルをわたし接続します。コネクタがきちんと接続されていることを確認します(図5)。次ページ「セットアップを完了する」へ進んでください。

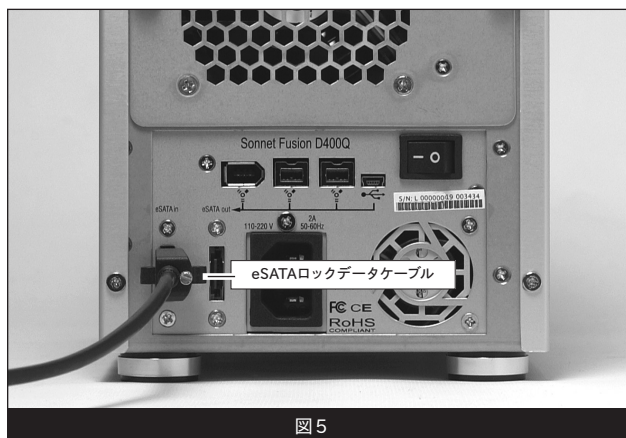


図 5



参考情報：付属のSonnet eSATAロックケーブルはあらゆるeSATAポートに対応しており、eSATAコネクタとの搭載されたSonnetのドライブエンクロージャおよびホストコントローラカードの使用時において、接続の安全性はるかに向上します。ロック部分は1対の部品からなるシェル型のケースになっていますので、必要に応じてコネクタ部からスクリュードライバーで外してロックなしケーブルとしても使用可能です。

ドライブのインストールとドライブエンクロージャのセットアップ

Fusion D400QをFireWireまたはUSBポートと接続する

この項では、Fusion D400QをコンピュータのFireWireまたはUSBポートへ接続する方法について説明しています。備考：お使いのFusion D400Qのポートの配置が、本書の図と異なる場合があります。

1. 付属の6インチ長eSATAジャンパーケーブルをエンクロージャの背面にあるSATA outとSATA inの間にわたして接続します (図 6)。



図 6

2. 付属のUSBまたはFireWireケーブル1本をエンクロージャの適切なポートとホストコンピュータとの間にわたして接続します。コネクタがきちんと接続されていることを確認します (図 7)。

セットアップを完了する

1. 付属の電源ケーブルをFusion D400Qと壁からの電源コンセントの間にわたして接続します。ケーブルがきちんと接続されていることを確認します。
2. エンクロージャの背面にあるスイッチを「ON」にして、それからコンピュータの電源を入れます。
3. 必要に応じて (または使用するオペレーティングシステムによって)、Fusion D400Qエンクロージャにインストールされているドライブを再フォーマットする必要があります。詳しくは、オペレーティングシステムのソフトウェアガイドもしくはヘルプ項を参考にしてください。

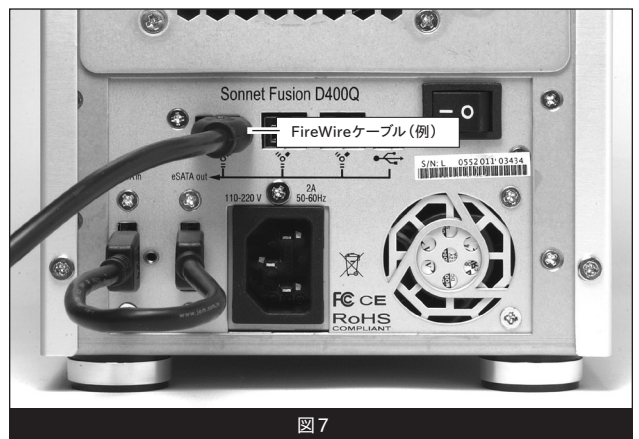


図 7

製品の使用時に役に立つ情報とその他追加情報

この項ではFusion D400Qエンクロージャの使用時に役立つ一般的な情報を記載しています。

ドライブのフォーマット形式の変更：

Fusion D400Qに付属のハードドライブはMac OS 拡張形式でフォーマットされており、RAIDレベル0セットの単体としてコンフィギュレーションされています。もしコンフィギュレーションを変更する場合は、オペレーティングシステムツールを使ってハードドライブの再フォーマットや再設定を行ってください。Macの場合は「ディスクユーティリティ」、Windowsの場合は「ディスクの管理」をお使いください。

ホットスワップドライブ：

eSATAデータケーブルを介してMac OS XのMacと接続される場合、ホットスワップドライブのホットスワップ*をサポートします。コンピュータの電源を落とさずにドライブを入れ替えることが可能です。これはドライブをいつでも取り外せるということではありません。作業中にデータを損失しないよう必ず以下の手順に従ってください。

- ドライブトレイを外す前に、ドライブボリュームの接続解除（イジェクト、アンマウント、デスマウント）を行なってください。Mac OSの場合は、単純に取り出したいドライブのアイコンをDockの「取り出し」（またはデスクトップの「ゴミ箱」）アイコンにドラッグすることで接続が解除されます。
- RAIDセットに組み込まれているドライブモジュールをFusion D400Qから取り除く場合は、ドライブモジュールを再度挿入する前にいったんエンクロージャの電源を落としてください。モジュールを取り付けてから再度エンクロージャの電源を入れます。これでRAIDセットは適切にマウントされます。

* WindowsおよびLinuxではSATAホストコントローラカードがインストールされたデスクトップPCまたはサーバに接続されているドライブ（ドライブエンクロージャ）のホットスワップをサポートしません。

接続について：

ドライブやボリュームがコンピュータに表示されない場合、またはドライブがRAIDセット構成されている際にドライブがみつかりませんというエラーメッセージが表示される問題は、コネクタがしっかりと接続されていない（抜けかけている）、またはドライブモジュールがしっかりと接続されていないために起こることがあります。

- データケーブルをいったん取り去り、カチッと正しく接続されていることを確認しながら再度接続してください。
- エンクロージャ正面のドライブ接続インジケータLEDを確認してください。点灯していないLEDのベイがある場合は、そのドライブモジュールをいったん取り外し、再度挿入してください。

接続について（つづき）：

- Fusion D400Qは1度の利用にインターフェース1基のみ対応します。エンクロージャとコンピュータの間に一度に2本以上のケーブルを接続しないでください。コンピュータ破損などのダメージはありませんが、複数が接続されている場合はインターフェース1基のみが動作します。
- Fusion D400QがコンピュータとFireWireまたはUSB経由で接続されている場合は、付属の6インチ長eSATAケーブルを使用してエンクロージャ背面にあるSATA outポートからSATA in ポートとが接続されていなければなりません。2基のeSATAポートがケーブルで接続されていない場合は、FireWireまたはUSB接続とハードドライブの間でのデータの受け渡しは行なわれません。
- FireWireまたはUSB経由で接続されている場合のD400Qの使用。Fusion D400QをコンピュータのFireWire 400、FireWire 800またはUSBケーブルと接続する場合、ベイ1（上部のスロット）へドライブのインストールが必要です。行わないと、ベイ2～4がコンピュータに認識されません。この問題は、eSATA経由でD400Qが接続されている場合には起こりません。

製品限定保証とカスタマーサービスへのお問い合わせ

本製品に関するテクニカルサポートについては、製品をお買い求めになられた販売店までお問い合わせください。お問い合わせいただく前に、Sonnetのウェブサイト (www.sonnettech.com/jp) から最新の関連情報やサポートファイルがあるか確認し、このユーザガイドをもう一度よくお読みください。



SIMPLY FAST
www.sonnettech.com

©2010 Sonnet Technologies, Inc. All rights reserved. SonnetおよびSonnetのロゴ、Simply Fast、Simply Fastのロゴ、Creativity Stored Here.、FusionはSonnet Technologies, Inc.の登録商標です。FireWire、Macintosh、Mac、Macロゴは、米国内または他国におけるApple Inc.の登録商標です。その他の商標については当該各社が所有権を有します。製品に関する情報は予告なしに変更されることがあります。Printed in the U.S.A. UG-FUS-D4Q-WD-JJ-041210